

各位

環境社会報告書 2008 の発行について

日本特殊陶業株式会社
取締役社長 加藤倫朗

当社は、この度、当社グループにおける2007年度の環境・社会活動について「環境社会報告書2008」にまとめ、発行しますので、お知らせします。

1. はじめに

今回の報告書では、企業理念の実現を目指す私たちの考えや取り組みをお知らせするため、各取り組みの考え方、仕組み、結果を簡潔に表現するように努めました。特に「分かりやすさ」を重視し、信頼される報告書を目指して編集しました。

2. 「環境社会報告書 2008」の特徴

報告書の構成・デザイン

当社は、2000年から環境報告書を発行しており、2003年から社会面の内容を追加するとともに、環境面の充実を図ってまいりました。2006年からは、企業行動規範に沿った構成とし、名称を「環境社会報告書」に変更しました。

「環境社会報告書 2008」も引き続き企業行動規範に沿った構成とし、当社の2007年度の取り組みを環境面、社会面に分け、記載しています。

デザイン面では、図やグラフの境界に黒線を追加するなど、全ての人に正確な情報が伝わるよう、見やすさを考慮しました。

第三者審査

情報やデータの信頼性確保のため、昨年に引き続き、テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社による第三者審査を受けました。

印刷

印刷は、グリーン購入ネットワークの「『オフセット印刷サービス』発注ガイドライン」に従い、冊子の作成による環境負荷の低減を図りました。

3. 「環境社会報告書 2008」の主な内容（別紙参照）

地球温暖化対応

- ・2007年度は、7,802トン分のCO₂削減対策を実施しましたが、新工場が稼動を開始したこともあり、排出量は前年度より増加し、20.9万トン(前年度比6.6%増)となりました。
- ・小牧工場の新工場屋上に発電能力107kWの太陽光発電設備を設置しました。

環境配慮製品

- ・製品の環境配慮に関する記述を充実しました。各事業部の代表的な製品や開発中の製品について環境性能や環境配慮を紹介しています。

製品含有化学物質管理の強化

- ・グリーンサプライヤー制度を見直し、運用を開始しました。2007年度は298社に対し調査を実施し、203社をグリーンサプライヤーとして認定しました。

環境会計

- ・環境保全コストは、日特グループで11,631百万円(前年比11.2%増)単独で11,007百万円(前年比12.8%増)でした。また、省エネルギーなどによる環境保全効果額は、単独で485百万円でした。

4 . その他

- 配布開始日 : 日本語版 8月29日 (英語版 10月中旬)
- ホームページ : 9月中旬掲載予定
- サイトレポート : 当社の4つの工場及び国内関係会社9社について、各事業所での環境保全活動をサイトレポートにまとめました。9月1日以降、順次発行する予定です。

(お問い合わせ先) 総務部広報課 TEL : 052-872-5896
環境安全部 TEL : 052-872-5980

別紙

「環境社会報告書 2008」の主な内容

本報告書では、全体を企業行動規範の10項目に沿って、10章に区分けしています。さらに、5章の環境保全に関するページでは、環境方針の5つのカテゴリーに細分化し、それぞれの取り組みについて記載しています。

Chapter	内容	頁	
2 . 消費者・顧客	・創業以来一貫した理念をもとに、品質の作りこみに取り組んでいます。	07	
	・各種の展示会に出展しました。	08	
4 . コミュニケーション	・IR イベントに出展しました。	10	
5 . 環境保全	マネジメント	・新たに、インドネシア NGK スパークプラグ(株)、ポーランド NTK(有)、南アフリカ NGK スパークプラグ(株)が ISO14001 の認証を取得しました。	15
		・騒音と排水の規制値超過が2件発生しました。対策を実施し、再発防止を図りました。	16
	ファクトリー / オフィス	・2007年度の国内・海外の全製造拠点を含めたCO ₂ 排出量は24万トンであり、前年度比8%増加しました。	19
		・廃棄物のリサイクル処理後の埋立残渣の量を調査しました。処理後に埋め立てに回る残渣は1%未満であることが分かりました。	21
		・海外販売法人である英国 NGK スパークプラグ(株)においても、さまざまな環境取り組みを実施しています。	23
	プロダクツ	・当社製品において、製造時や使用時の環境負荷の低減に役立つよう開発を進めています。	25
		・製品含有化学物質の管理に対し、顧客、社内、調達先の3つの段階から成る管理体制を構築しています。	27
	コミュニケーション	・環境展示会に出展しました。	29
		・環境主体の工場見学を9件受け入れました。	29
	マインド	・環境教育制度の見直しを行い、教育の充実を図りました。	30
6 . 社会貢献	・小牧工場を横断する県道に歩道橋を設置し、小牧市へ寄贈しました。また、県道・市道横の工場敷地を一部寄贈し、T字路に右折帯を設置することで、通勤時の渋滞緩和を図りました。	33	
	・アジア諸国からの留学生を対象とした奨学基金を設立し、8名の留学生に奨学金を支給しました。	34	
7 . 従業員	・JISHA方式の労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、業務事故の撲滅、健康の増進に努めています。	37	

以上